

ママム ブギウギ

みやがわ まさこ
宮川 雅子



STORY

編み物が大好きなぼくのマムは、何でもかんでも毛糸で編んでくります。家族にはセーターを編み、アヒルの首や木の周りも、池の上や家の屋根も、「ママム ブギウギ」と言いながら、編んでいきます。噂を聞いた北の国の人たちが自分の町に来て欲しいと言ったので出張し、町中を編み物でいっぱいになりました。それから山も編み物でくりました。山や屋根の編み目に穴を見つけてほどくと、いろいろな色の毛糸が空に広がって虹になりました。



みやがわ まさこ
宮川 雅子

介護士 東京都

受賞のことば

私の母は、ごはんを食べる時以外はずっと編み物をしている人でした。編み棒は日常のいろんな場面で活用され、家族5人お揃いの上下ニットは、写真を見るとおそろしい程の勢いがあります。ひとりの人が好きなことをやり続けると、もしかしたら世界中の人の幸せにつながるかもしれない!と思いつながりながら楽しく描きました。

審査員コメント

毛糸を編んで山など包んでしまう、というあり得ない話の展開。また、包んだかと思いきや、今度はそれがほどこけていく、というおもしろさ。とくに「ピー、ピー」と一本ずつほどこけていく画面は秀逸である。大らかな山と緻密な建物、また自然なカラーージュは見ていて心地よい。

高島 純